

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	隠岐支庁県土整備局	氏名	井上 洋平
派遣先 団体名	海士町中央公民館		
<p>① 研修の日時 平成 27 年 7 月 27 日（月）～平成 27 年 8 月 1 日（土） 8:30～17:15 倉田海岸</p> <p>② 研修の内容（できるだけ詳しく記載してください。） 【アドベンチャーキャンプの現地スタッフ】 アドベンチャーキャンプとは、小学生～中学生を対象とする子どもたちが何も無い海岸で大人たちの協力を得ながら一週間泊まり込みで生活するというものである（今回は台風の影響のため4日間のキャンプ日程へ変更）。キャンプでは生活のためのテント作り、火熾しや調理、もの作り（竹箸やいかだ等）を全て自分たちの力で行い、子どもたち自身の協調性や忍耐力を養うことを目的としている。今回のキャンプでは急な日程変更となったが、総勢41名が参加し（うち海士島外から18名）、全員が無事にキャンプ日程を修了することができた。</p> <p>③ 研修の感想 （研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想（研修前後における意識の変化）等について記入してください。）</p> <p>今回のキャンプは大人たちが子どもたちに海岸での生活の仕方を教えながら子どもたち自身を育てるという内容であるが、私自身がキャンプを通して教えられることが数多くあった。キャンプ生活は今までほとんどしたことが無かったため、テントの作り方からロープの結び方、沢水の取り方等本当に勉強することがたくさんあり、知識や技術等を身に付けることができた。また、子どもたちのサポートの仕方も学ぶことができた。</p> <p>子どもたちにおいては、キャンプ中は基本的には各班での行動となり、初めは知らない人どうしでぎこちなかったものの、最後にはお互いが仲良くなり、班としてまとまり、協力し合って生活する姿が見られた。また、キャンプ中のいかだ作りでは、各班ともいかだの設計に班員が意見を出し合いそれぞれ特色のあるいかだを作っていた。また、その後のいかだレースでは、風が強い中諦めることなく最後まで漕ぎ続け、達成する喜びを感じているように見えた。子どもたちもキャンプを通して様々な知識や技術を身に付け、短期間でもしっかりと成長しているように感じた。</p> <p>地域でのこのような活動は、子どもたちを育てる力、大人たちのサポートする力、総じれば地域を育てる力となり、大変有意義な活動であると肌で感じる事ができた。また、このような力は災害等の緊急時も必ず役立つものであり、重要性も非常に高いものである。今回の活動は地域づくりの良い事例の一つを学ぶ良い機会となった。</p>			

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)
一週間職場を空けることになるため、仕事については調整しておくこと。

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)報告書は、平成28年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。